

最大積載量が大幅に向上！ 4トン車・7トン車と共通のデザインコンセプトを採用した耐摩耗鋼板仕様も新たにラインナップ！

10トン軽量ホイストリヤダンプトラックを改良、耐摩耗鋼板仕様を追加し発売

極東開発工業株式会社（本社：兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 社長：布原 達也 特装車事業、環境事業、パーキング事業）はこのたび、10トン軽量ホイストリヤダンプトラックを改良し、標準仕様に加え、耐摩耗鋼板「HARDOX」を採用した耐摩耗鋼板仕様を新たに追加して、2020年12月18日より発売いたします。

新機種は、ホイストメカとボデー主桁の改良により大幅な軽量化を図り、輸送効率を向上させました。

また、新たにラインナップされた耐摩耗鋼板仕様は、高い硬度と靱性を誇る「HARDOX」をボデーに使用することで一層の強度向上と軽量化の両立を図り最大積載量10,000kg以上を確保したほか、2018年2月に発売した4トン車および2019年5月に発売した7トン車と共通のデザインコンセプトを採用し、サイドパネルおよびテールゲートをスチフナ（補強柱）レスとすることで、すっきりとしたシンプルなデザインとしています。

極東開発グループでは、
充し、特装車事業の強化

新機種の投入により製品ラインナップを拡
を図ってまいります。



新型10トン軽量ホイストリヤダンプトラック（耐摩耗鋼板仕様）

（オプション装着車）

新型 10 トン軽量ホイストリヤダンプトラックの特徴

1. 大幅な軽量化を実現

ホイストメカとボデー主桁の改良により、架装物重量が従来機(メーカーカタログ車)に比べ標準仕様で約 100 kg、耐摩耗鋼板仕様は「HARDOX」の採用で強度を保ったまま板厚の薄肉化と補強部品の削減を可能としたことにより約 500 kgと、それぞれ大幅な軽量化を実現しました。

効率の高い運搬と空荷状態における燃費向上に貢献します。



軽量ホイスト

2. 高強度と軽量化を両立した耐摩耗鋼板仕様も新たにラインナップ

耐摩耗鋼板仕様は、ダンプトラックに求められている輸送効率のアップと車両重量増への対応、またアフターメンテナンスの容易性といった「積載量(軽量化)と耐久性の確保」という相反するニーズに対して、2018年2月に発売し「2018年度グッドデザイン賞」を受賞した4トン車および2019年5月に発売した7トン車と共通する、“剛から柔へ”の全く新しい設計思想を採用しました。

高い硬度と靱性を併せ持ち、多くの実績を誇る耐摩耗鋼板「HARDOX」を使用することで、耐衝撃性だけでなく、変形や亀裂の発生にも強い、より一層高強度なボデーとしています。

またサイドパネルおよびテールゲートをスチフナレスとし、すっきりとしたデザインとしたことでボデー表面がフラットになり、ダンプ表示番号をはじめ、看板やステッカーなどの自由なデザインに対応します。

さらにボデー内は、デッキとサイドパネルを一体化した緩やかな R を持つ丸底デッキ形状とすることで、積荷の排出性と清掃性も向上しました。



サイドパネル



テールゲート

(※極東開発工業のリヤダンプトラック(耐摩耗鋼板仕様)は、本来の耐摩耗鋼板「HARDOX」の特性をもった製品の証である「HARDOX IN MY BODY」の認定を受けています。)

3. 販売価格 標準仕様 168 万円
 耐摩耗鋼板仕様 240 万円
 (希望小売価格、シャシ・消費税抜き)

4. 販売目標台数 1,500 台 (標準仕様・耐摩耗鋼板仕様合計、年間)



<広報お問合せ先>

極東開発工業株式会社 総務部 総務課
〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号
電話 (0798) 66-1000 FAX (0798) 66-8156
ホームページアドレス <http://www.kyokuto.com/>

※製品のご商談に関するお問い合わせにつきましては、お近くの営業所までご連絡いただきますようお願い申し上げます。